

名 称：上阿賀コミュニティセンター  
 (通称：上阿賀公民館)  
 所 在 地：鳥取県西伯郡南部町阿賀329番地  
 敷地面積：630m<sup>2</sup>  
 床面積：215m<sup>2</sup>  
 構 造：木造平屋建て  
 事 業 費：3,860万円

平成二十一年十月十日(土)、晴  
 天の中での上阿賀コミュニティセンタ（通称上阿賀公民館）の竣工式が行われました。

旧上阿賀公民館は、天津尋常小

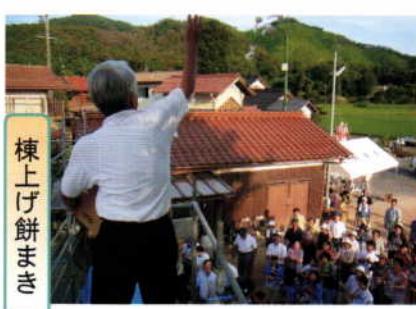
### 第6号

発行

天津地域振興協議会  
 総務企画部編集委員会

印刷

米子ワークホーム



学校として明治二十七年に新築され、その後昭和二十六年の新校舎落成まで多くの方々が巣立った学舎を上阿賀に移転し、公民館として使用していました。月日の経過に伴い、老朽化は避けられず、修理をしながら大切に使用してきましたが、建て替える

要望も出始め、建設委員会が設置され、今年春に着工し、この度ようやく竣工することとなりました。上阿賀にとって生き甲斐づくりの中心となるように、今後は住む人々が豊かな地域社会を創造するため公民館を有効利用していくます。

この度は、天津地区運動会の歴史をひも解いてみました。

第1回大会は、昭和51年に行われ、柏尾が優勝しています。当時は、ふるさと交流センターも無く、「天津小学校の校庭」や「つくし保育園」、「西部やまと園」、「天津運動公園」と転々としました。

昭和54年の第4回大会では、マラソンに小学生だけでも150人が参加していたという記録が残っています。平成2年の第15回大会では、優勝旗が新調され、境が獲得しました。その優勝旗は今現在も使用中です。

総合優勝の回数では、柏尾が10回で最多です。連続優勝では、清水川が7連続と最多です。

※表の中の空欄は、調査しても分かりませんでした。

総合リレー									応援賞	応援の部				備考
優勝	準優勝	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位		優秀賞	敢闘賞	ユーモア賞	アイティ7賞	
谷川	境	谷川	境	谷川	境	谷川	境	谷川	清水川	清水川	清水川	清水川	清水川	23種目
境	境	谷川	下阿賀						谷川	谷川	谷川	谷川	谷川	24種目
境									谷川	谷川	谷川	谷川	谷川	降雨途中中止
谷川	境	下阿賀							谷川	谷川	谷川	谷川	谷川	東西町独立
境	境	谷川	下阿賀						谷川	谷川	谷川	谷川	谷川	雨天中止 優勝旗新調
谷川	境	下阿賀							谷川	谷川	谷川	谷川	谷川	25種目
境	谷川	上阿賀							谷川	上阿賀	下阿賀	谷川	上阿賀	24種目
境	下阿賀	上阿賀							谷川	柏尾	上阿賀	谷川	柏尾	24種目
境	下阿賀	谷川							四季	上阿賀	谷川	四季	四季	四季初参加
下阿賀	上阿賀	境	清水川	谷川	四季	柏尾	坂根		上阿賀	谷川	境			
柏尾	谷川	境	下阿賀	坂根	清水川	上阿賀	四季		下阿賀	谷川	四季	上阿賀		応援優秀賞設立
境	柏尾	下阿賀	谷川	上阿賀	坂根	四季	清水川		下阿賀	四季	谷川	上阿賀		
境	柏尾	上阿賀	四季	下阿賀	谷川	清水川	坂根		柏尾	下阿賀	谷川	坂根		
柏尾	境	下阿賀	清水川	上阿賀	四季	谷川	坂根		下阿賀	四季	谷川	柏尾		
フォレスト	柏尾	境	上阿賀	谷川	清水川	四季	坂根	下阿賀	谷川	清水川	下阿賀	四季		マラソン時間制限短縮 フォレスト初参加
境	柏尾	谷川	上阿賀	フォレスト	下阿賀	坂根	清水川	四季	柏尾	谷川	上阿賀	四季		
フォレスト	坂根	谷川	四季	上阿賀	下阿賀	境	柏尾	清水川	柏尾	上阿賀	四季	境		雨天中止
柏尾	谷川	下阿賀	フォレスト	四季	上阿賀	境	清水川	坂根	谷川	坂根	下阿賀	柏尾		降雨途中中止
フォレスト	柏尾	四季	坂根	境	上阿賀	谷川	清水川	下阿賀	柏尾	下阿賀	谷川			応援参加3チーム
フォレスト	境	谷川	四季	坂根	上阿賀	清水川	柏尾		谷川	柏尾	上阿賀	四季		インフルエンザ中止



平成11年度 今年も豊作だ



平成19年度 綱引き

# ～天津地区スポーツ大会の歴史～

## 天津地区運動会

年度	回数	開催日	場所	総合										綱引き			
				優勝	準優勝	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	優勝	準優勝	第3位	第4位	
S51	第1回	S51. 6. 20		柏尾													
S52	第2回	S52. 6. 26	天津小学校校庭	柏尾	ニュータウン	清水川								谷川	柏尾		
S53	第3回	S53. 7. 9	天津小学校校庭	清水川	境	谷川											
S54	第4回	S54. 6. 17	つくし保育園園庭	清水川	柏尾	上阿賀								柏尾	清水川		
S55	第5回	S55. 6. 22	西部やまと園	清水川	下阿賀	ニュータウン	坂根	柏尾	境	谷川	上阿賀						
S56	第6回	S56. 7. 12	天津運動公園	清水川	境		柏尾			下阿賀	ニュータウン	坂根					
S57	第7回	S57. 6. 20	天津運動公園	清水川	境	柏尾	谷川										
S58	第8回	S58. 6. 19	天津運動公園	清水川	境	上阿賀								清水川	上阿賀	境	
S59	第9回	S59. 8. 26	天津運動公園	清水川	境	柏尾	東西町	上阿賀	下阿賀	坂根	谷川						
S60	第10回	S60. 8. 25	天津運動公園	境	清水川	柏尾	谷川	下阿賀	上阿賀					境			
S61	第11回	S61. 8. 24		谷川	柏尾	清水川	上阿賀	坂根	境	下阿賀				清水川			
S62	第12回	S62. 8. 30		谷川													
S63	第13回	S63. 8. 28	天津運動公園	柏尾	谷川	境	清水川	下阿賀	坂根	上阿賀							
H1	第14回																
H2	第15回	H2. 8. 26	天津運動公園	境										清水川			
H3	第16回	H3. 8. 25	天津運動公園	境	谷川	下阿賀	清水川	柏尾	上阿賀	坂根				清水川	坂根	境	谷川
H4	第17回	H4. 8. 30	天津運動公園	境	柏尾									柏尾			
H5	第18回	H5. 8. 29	ふるさと交流センター	清水川	境	谷川	下阿賀	上阿賀	柏尾	坂根				清水川	下阿賀	谷川	上阿賀
H6	第19回	H6. 8. 28	ふるさと交流センター	谷川	境	清水川	下阿賀	坂根	上阿賀	柏尾				清水川	下阿賀	谷川	境
H7	第20回	H7. 8. 27	ふるさと交流センター	谷川	境	下阿賀	清水川	上阿賀	柏尾	坂根				清水川	谷川	柏尾	坂根
H8	第21回	H8. 8. 25	ふるさと交流センター	下阿賀	谷川	上阿賀	境	清水川	柏尾	四季	坂根			下阿賀	谷川	清水川	境
H9	第22回	H9. 8. 31	ふるさと交流センター	境	上阿賀	下阿賀	清水川	谷川	四季		坂根	柏尾		柏尾	上阿賀	清水川	四季
H10	第23回	H10. 8. 30	ふるさと交流センター	谷川	柏尾	下阿賀	境	清水川	上阿賀	坂根	四季			柏尾	谷川	清水川	下阿賀
H11	第24回	H11. 8. 29	ふるさと交流センター	境	谷川	柏尾	清水川	下阿賀	上阿賀	四季	坂根			谷川	柏尾	清水川	上阿賀
H12	第25回	H12. 8. 27	ふるさと交流センター	谷川	柏尾	境	上阿賀	清水川	坂根	下阿賀	四季			清水川	谷川	境	下阿賀
H13	第26回	H13. 8. 26	ふるさと交流センター	柏尾	谷川	境	清水川	四季	下阿賀	上阿賀	坂根			清水川	谷川	柏尾	境
H14	第27回	H14. 10. 6	ふるさと交流センター	柏尾	清水川	上阿賀	境	谷川	四季		坂根	四季		下阿賀	柏尾	境	清水川
H15	第28回	H15. 10. 5	ふるさと交流センター	柏尾	境	谷川	四季	上阿賀	下阿賀	清水川	坂根	柏尾	谷川	清水川	坂根		
H16	第29回																
H17	第30回	H17. 10. 2	ふるさと交流センター	柏尾	上阿賀	境	清水川	四季	下阿賀	谷川	四季	坂根	谷川	柏尾	坂根	清水川	
H18	第31回	H18. 10. 1	ふるさと交流センター	柏尾	谷川	四季	上阿賀	清水川	四季	下阿賀	坂根	坂根	柏尾	谷川	境	坂根	
H19	第32回	H19. 10. 7	ふるさと交流センター	柏尾	境	四季	上阿賀	谷川	四季	坂根	下阿賀	清水川	柏尾	谷川	境	四季	
H20	第33回	H20. 10. 5	ふるさと交流センター	四季	谷川	柏尾	清水川	坂根	四季	境	上阿賀		柏尾	谷川	坂根	四季	
H21	第34回																



昭和61年度 私は鑑定士



平成3年度 マラソン

## 教室紹介

ふるさと交流センターで行われている各種教室を紹介します。

### ★生花教室

野辺にさりげなく咲いている、一輪の花にも心を奪われることが度々あります。花には人の心を癒したり、楽しませてくれる不思議な力があります。

私たち生花教室は、そうした思いから端を発し、庵家未生の流派に魅力を感じて始めました。時々流展にも出展する機会を与えてい

### 天津歌謡こしUB

カラオケブームの最中、天津芝オケ研究会の活動の一つとして、カラオケ好きの仲間が中心となり天津歌謡CLUB虹の会を設立しました。公民館主事であった野口勝樹さん所有の音響で、他の教室にはない贅沢な環境で歌っています。最初から指導者は置かず、お互いにアドバイスし合いながら楽しく歌っているのも、他のグループにはない特徴かもしれません。

他のがグループとの交流会や要請があったところへのボランティア

ただいています。  
技術の向上も大切ですが、花と向き合えば自然と気持ちを優しくしてくれるのが好きです。

### 活動内容 生花

指導者	吉森早苗
代表者	野口昭子
活動場所	交流センター研修室
活動日	毎月第二・四金曜日
時間	十九時～二十二時
会費	月二千円
ひと言	一緒に生花を楽しみませんか？

等も練習の成果発表として行っています。

会員費	活動内容	活動場所	活動日	代表者
必要時徴収	カラオケ練習	交流センター交流室	第一水曜日 第三土曜日	田子健次



季節柄、気温も下がり、外に出るのが億劫になってきたところ、面白い漫画と出会った。あの大ヒットした「機動戦士ガンダム」の主要スタッフとして有名な安彦良和氏の書かれた「ナムジ」と「神武」である（但し、二十年も前の漫画ですが）。このマンガは、「古事記」を基に氏の独自の解釈で、日本国成り立ちを神々の神話としてではなく、生身の人間の物語として描かれている。「古事記」や「日本書記」に書かれているように、神々が天から降りてきてこの国土を造り、その子孫が第一代の神武天皇へとつづくというのは多少無理があるように思えるが、この漫画のように「古事記」に登場する神々が生身の人間に置き換えられると途端に現実にあった話に思えてくるところが面白い。また、物語の舞台も当然「古事記」と同じく山陰地方が主となるところも親しみがもてる。この地域で、歴史上の人物がクニづくりのためエネルギー的に活躍したと思うと、同じ地方に住む人間として誇らしく思えてくる。この冬は寒さにめげず、関係する遺跡巡りでもしてみようと思う。

## 編集後記